



浅間山

せんげんやま

地域と繋がる

教務主任 桑下 正之

新型コロナウイルス感染症が流行する前には当たり前に行われていた様々な行事。今は、以前と同じような内容で実施することが残念ながらできません。しかし、そんなコロナ禍でも生徒は逆境をチャンスに変え、活動に日々取り組んでいます。今年度は、体育大会でも内容を工夫し、学年ごとに練習を重ね、行事を成功させることができました。保護者の方の参観が可能となり、生徒の頑張りを見ていただく良い機会となりました。また学年ごとに校外学習や宿泊研修が実施され、生徒が自分たちで創り上げた活動を進めることができ、充実した時間を過ごすことができました。



今年度は学校の中にとどまらず、生徒会が中心となって地域へ発信する活動を行いました。環境委員会主催の「校外クリーンアップ大作戦」では、本校周辺の草抜き及び清掃活動を地域の方の協力を得て、2日間一緒に活動に取り組みました。新型コロナウイルス感染症の影響により、地域との活動が減少していた中、大変貴重な機会となりました。今後も私たち東可児中学校が発信となって様々な活動を地域の方々と行うことで、より多くの地域の方々と心を通わせ、共に活動できる、そんな環境が整えられていくと期待しています。今回の「校外クリーンアップ大作戦」でも、進んでボランティアに参加し、楽しく活動に参加する生徒の姿から、地域の方との繋がり大切さ、地域のために協力できる自分たちを大事にする意識がそこには見られました。活動を終えた生徒の表情にはたくさんの笑顔が見られ、一つ一つの活動が生徒にとっても、地域の方々にとってもプラスになっていると実感することができました。

また今年度は桜ヶ丘地区センターにおいて、「桜ヶ丘ハイツ秋祭り」が行われ、多くの生徒がボランティアとして参加しました。久しぶりの「桜ヶ丘ハイツ秋祭り」ということもあり、今まで以上に生徒は積極的に参加し、地域との繋がりを感じているようでした。さらに、地域の方の協力を得て40周年記念プロジェクトとして記念パネルを作成することができました。ご協力いただき、ありがとうございました。



また、学校では円創会に向けて取組を行い、自分たちが4月から積み上げてきた学級文化を1つの形として表現するため、文化委員や文化班が中心となり、毎日一生懸命練習することができました。

今の東可児中学校があるのは、地域の方々が生徒や学校を大切にしてくださっているおかげです。創立40周年を1つの節目として、さらに東可児中学校が発展していけるように、地域の方々、生徒会そして私たちが1つとなって今後も活動を進めていけるよう頑張りたいと思います。コロナ禍の今だからこそ、昔の形にとらわれず新しいものを創り上げていくことが求められていると感じます。これからも、ご協力ご支援賜りますよう宜しくお願いいたします。